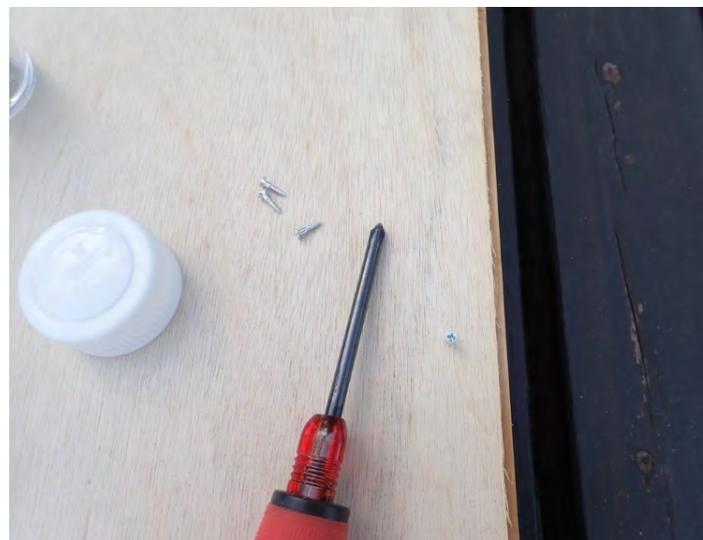


ベニヤ板上のフレーム内に接着後の のモノリス



ベニヤ板とフレームを裏側から木ねじで固定



完成した土壌モニ リス



2018年の土壌断面標本 (1)



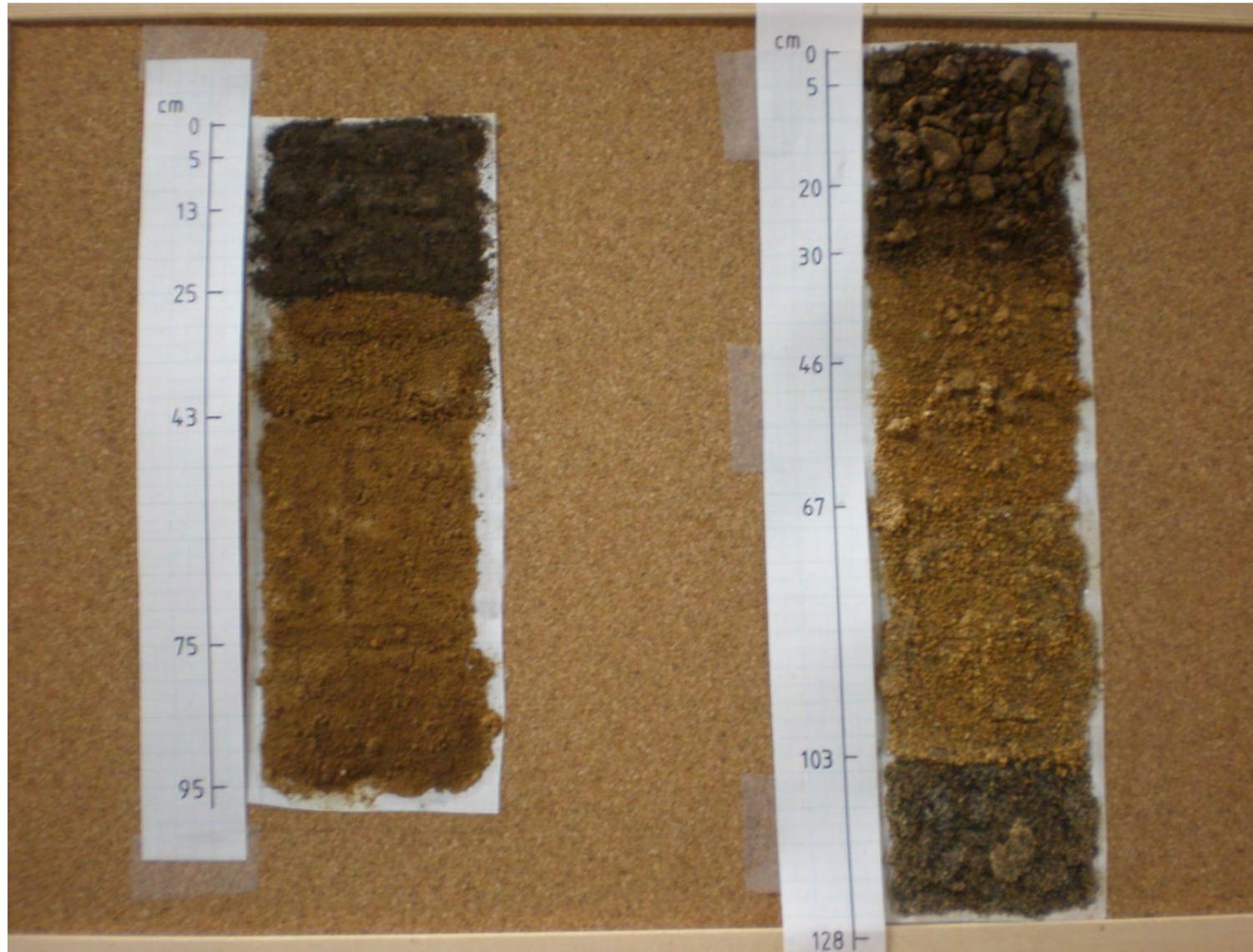
2018年の土壌断面標本 (2)



ミニモノリスの作製



ミニモノリスの作製



ミニモノリスの作製



ミニモノリスは、方眼紙やベニヤ板、コルクボードの上に木工ボンドを厚めに塗り、その上に乾燥した土壌をそれぞれの層位ごとに注意深く置きます。乾燥後、表面を水溶性透明つやだしニスで固定し、濡れ色を出します。

ミニモノリスの作成 (2018)



ミニモノリスの作成 (2018) - 2



完成したミニモノリス 2018



ラックフィルム土壌断面標本の作製法 筒木が行っている方法

- 1) 土壌断面を掘る。幅1 m以上、深さ1-1.5 m、奥行き2 m。階段をつくる。断面を平らに整形する。
- 2) 三恒商事トマックNS-10 を刷毛で土壌断面に塗布する。
- 3) その上に寒冷紗を貼り付け、周辺を竹串で固定する。さらにトマックNS-10 を刷毛で塗布する。
- 4) 一昼夜放置して、樹脂を固化させる。
- 5) 固化した土壌断面の薄層標本をナイフやスコップ、剪定ばさみなどを使用して剥ぎ取る。
- 6) ベニヤ板などに載せて、安全な作業場所に運び乾燥させる。

ラックフィルム土壌断面標本の作製法 筒木が行っている方法（続き 1）

- 7) 余分な土や石や根を刷毛で落とす。（流水で洗う。*）
2018年に実際水で洗ってみましたが問題ありませんでした。
- 8) 和信ペイントの水溶性つやだしニス専用薄め液で2倍に希釈し、少しずつ刷毛で塗布する。
- 9) 乾燥後塗りむらがないか確認し、必要な部分を塗り直す。
- 10) 一昼夜以上放置して、つやだしニスを乾燥させる。
- 11) ベニヤ板を縦に2つに切る（幅45cm 長さ180 cm）。
- 12) フレーム用に幅3cm、厚さ5mm、長さ180cm のヒノキ角材を用意する。
- 13) 土壌断面の薄層標本の両脇および最下辺をカットする。
幅はフレームの幅を考慮すると38-39cmとなる。

ラックフィルム土壌断面標本の作製法 筒木が行っている方法（続き 2）

- 14) ベニヤ板を土壌断面標本の長さ+ 8 cm程度の長さに切る。
- 15) ベニヤ板全面に木工用ボンドCH-18を塗布する。
- 16) ベニヤ板の周辺にフレーム用の角材を貼り付け、フレーム内に土壌断面標本を貼り付ける。
- 17) 土壌断面標本の上に雑巾をたくさん置き、その上に別のベニヤ板を乗せ、さらにその上に重しを乗せる。
- 18) フレーム用の角材とベニヤ板はダブルクリップではさんで固定する。
- 19) 接着が完了するまで3日以上放置する。
- 20) ベニヤ板の裏からネジ釘を刺し、フレームとベニヤ板を固定する。
- 21) 完成。展示。

参考文献

- Walter Hähnel, Hamburg. Die Lackfilmmethode zur Konservierung geologischer Objekte. Der Präparator - Zeitschrift für Museumstechnik. 7(4), (1961)
- 浜崎忠雄・三土正則 土壌モノリスの作製法 農技研資B 18, 1-27 (1983)
- 浜崎忠雄・三土正則・小原洋・中井信、土壌モノリスの作製法改訂版 (2002), <http://www.naro.affrc.go.jp/archive/niaes/inventory/soil/Document/method.pdf>
- 三恒商事、遺跡断面等の剥ぎ取り転写セット 説明書

ホームページ

- 本講義のパワーポイントはpdfファイルにして、私のホームページにも掲載しました。
- <http://timetraveler.html.xdomain.jp/lecfile.html>
- 土壌断面標本の説明板について
- <http://timetraveler.html.xdomain.jp/special.html#special65>
- 土壌断面標本の展示の様子
- <http://timetraveler.html.xdomain.jp/special.html#special53>